



今年の高校入試を分析したら、こんなことがわかりました！

合格者の数学の平均点は、48.4点

正答率が高かったのは、小問集合の各問題や大問2以降の基礎的・基本的な知識や技能に関する問題です。確率や直線の式などについても、定着が図られています！



正答率^()の低かった問題を見てみましょう！

< 確率・連立方程式 > では...

つくった等式の誤りに気づき、正しい式を求める問題が、34.0%

道のり、時間、速さの関係から等式をつくったり、単位を変換したりする力が不足

連立方程式を利用して、正しい解答を完成させる問題が、22.3%

文章題から条件を読み取り、途中の過程も含めて正しく表現する力が不足

連立方程式の利用は、文章題から必要な情報を読み取ったり、話し合い活動において、思考の過程や判断の根拠を明らかにし、筋道を立てて説明したりするなどの指導を充実させましょう！

< 関数 > では...

関数と図形の特徴を利用して、条件を満たす点の座標を求める問題が、6.5%

「関数」「図形」の領域で習得した知識や技能を活用する力が不足

関数と図形の性質を関連付けて考察させる指導を充実させましょう！

< 平面図形・空間図形 > では...

線分の長さの比を求める問題が、0.4%

補助線を引いて相似な三角形を見つけ、それらの相似比を利用する力が不足

条件に従ってできる立体の体積を求める問題が、8.8%、立体にかけたひもの長さを求める問題が、0.2%

立体を多角的に観察する力が不足

- ・平面図形では、図形の合同や相似、三平方の定理などを用いて、数理的に考察し、表現させる指導を充実させましょう！
- ・空間図形では、見取図・展開図・投影図などを用いたり、様々な方向から観察し、分析させたりする指導を充実させましょう！



日々の授業が変われば、生徒の学力は身に付きます！

各問いの出題内容・ねらい及び正答率は裏面をご覧ください！

くわしい分析は、学力検査問題と報告書を見てくださいね！

()正答率については、合格者5,112人の中から、無作為に抽出した650人(12.7%)分のデータです。

